

『 いっせーの一で！ 』 4歳児 5月 辰市こども園



エピソード

水遊びが始まり出し、初めは濡れることや汚れることに不安を感じたり嫌がったりしている子もいました。A 児は「大きな池をつくろう」と穴を掘り、B 児は水を流したいとトイを繋げて水を流して遊んでいました。隣の場では5歳児が池をつくって遊んでいました。その水が A 児たちの遊んでいるところに流れてきて大きな池になりました。A 児はできた池に入りバシャバシャと歩くことを楽しむようになり、その様子を見て周りの子も入り出し、A 児「一緒にジャンプしよう」「せーの!」「3、2、1!」と声を合わせて飛びこんで遊ぶことを楽しんでいます。

保育者の思い

体を動かし、水や土、泥の感触を感じながら遊んでほしいと思い、水を存分に使って遊べるように容器（たらい）に溜めておいたり、水遊びに使えるようなトイ、バケツ、スコップなどを多めに用意したりしておきました。

水遊びが始まりかけの遊びだったので、子どもの「やりたい」気持ちを大切にしたいと思い、遊ぶ様子を見守るようにしました。

濡れることや汚れることに不安を感じている子もいたので、保育者も一緒に穴を掘ったり、水の中に入ったりして、楽しさを一緒に感じるようにしました。

子どもの育ちや学び

- ・水が流れるようにトイの繋げ方を考えています。
- ・場所によって水の温度の違いを感じています。
- ・水の量や深さに気付いています。
- ・気付いたこと、考えたことを友達や保育者に伝えようとしています。

家庭だったら・・・

汚れても気にしないで遊べる服装で登園し「汚れても大丈夫だよ」「いっぱい楽しんでね」と声をかけてあげてください。汚れた服は子ども達が夢中で遊んだ様子だと受け止め、どんなふうにも遊んだのか、お水の中に入ってどんな感触だったのか話を聞いたり温かく見守ってあげてくださいね。

休日には親子で公園に出かけ体を動かして遊んだり、雨の日、長靴で水たまりにバシャバシャ入って水の感触を楽しんだり、汚れを気にせず、子どもと一緒に遊べる時間がつくれたら最高ですね。

手洗いやお風呂に入る時、水道やシャワーの水の温度の違いや水の勢いに気付けるように声をかけてみましょう。